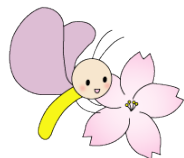


九品仏地区 社協だより No.179



発行者：九品仏地区社会福祉協議会
事務局：社会福祉協議会 九品仏地区事務局
世田谷区奥沢 7-35-4
九品仏まちづくりセンター内
☎070-3946-9797
<https://www.setagayashakyo.or.jp>

～2月18日 今年度5回目の食で応援プロジェクトを実施しました！～

「前回、今日の日程を聞いて食品を貯めていたのよ」と毎回おいでくださる方など、今回も多くの方からのご支援をいただきました。ご協力ありがとうございました。今年に入って、「近隣で顔見知りができるようなボランティアがしたい。」との相談が事務局に寄せられることが増えました。食プロで食品の受取りなどにも参加して頂いています。食プロの合間にお話しすると、地区社協スタッフとご近所だったり、共通の友人や趣味が判明したり、会話が広がり知り合いが増える場にもなっています♪



次回は6月上旬に開催予定。

八幡中学校 「立青式」と「支援学級の卒業を祝う会」

九品仏地区社協では、支えあい助け合い事業の一環として、青少年九品仏地区委員会との連携及び支援をしています。今年度の様子などを地区委員会の森会長からご報告いただきました。

2月18日、第55回立青式が開催されました。

八幡中学校2年生66名が、「自立」「立志」「健康」をテーマに自分自身を振り返り、クラス発表を経て選ばれた生徒が代表として壇上で発表します。

今年はクラスでの発表に保護者も出席することができ、教室内だけでなく廊下からそっと見守る方もいて、見守りかたはいろいろだなと感じました。

クラス全員発表では、照れたり緊張したりと、いつも通りにはいかなかった生徒も多かったのかもしれませんが、でも、クラスから選ばれた代表の発表を聞きながら、式当日まで練習を重ねたと思われる彼らの堂々とした姿に、「真摯に向き合う」という言葉を思い出しました。

青少年九品仏地区委員会は、八幡中学校支援学級の家庭科支援・校外学習支援をしています。今年も3月8日の「支援学級の卒業を祝う会」にお招きいただきました。支援学級の9人が卒業します。



八幡中学校では九品仏地区社協からの助成で立青式で2年生に図書カードを、支援学級の卒業を祝う会では記念品をプレゼントしています。

支援学級の家庭科・校外学習支援

支援が始まったきっかけは、2007年度立青式での支援学級2年生 S 君の「うどん屋さんになりたい」との発表でした。その発表を聞いた当時の青少年地区委員が、校長先生にお願いし八幡中学校で「うどん屋さんごっこ」を実施させてもらえることになりました。

生徒たちは事前に家庭科の授業で作り方を学び、前日の買い物では担当を決め、必要な食材を買いに商店やスーパーに出かけ、先生から渡されたお財布をもって自分の担当の品を選び支払いをします。お財布からなかなかお金が出せない子・お釣りを真剣に数える子・他のものを買いたくなる子……。いろいろでしたが、みんな大事に食材をもって学校に戻りました。

「うどん屋さん」当日は、青少年地区委員もうどん作りをお手伝いして、ご招待した地域の方々に食べていただきました。

その時、当時の家庭科の先生から「調理実習の時間にお手伝いに来ていただけませんか？」と言われたことが、現在の家庭科支援につながっています。

2009年に「支援学級だけで校外学習に行きたい」と担任のK先生から相談を受け、青少年地区委員も支援に入って校外学習支援が始まりました。

コロナになるまで毎年生徒たちと一緒に鉄道博物館・中華街・キザニア・水族館などへと出かけ、楽しい思い出をたくさんもらいました。

先生も支援員の皆さんも何年かすると代わりますが、地域に住む私たちは、生徒が卒業して就職しても、職場の帰りに声をかけ、見守ることができます。ちよつといい関係だな！と感じています。

生徒たちにとって、見知った顔の人が一人でも増えるといいなと思っています。

青少年九品仏地区委員会 森伸子